

- 1 名称 第11回神奈川県女子フットサルリーグ2016
- 2 主催 一般社団法人神奈川県サッカー協会
- 3 主管 一般社団法人神奈川県サッカー協会 第1事業部 フットサル部会、神奈川県フットサル連盟
- 4 協賛 株式会社ウインスポーツ、株式会社「EN」、株式会社ロンヨンジャパン
- 5 協力 横須賀市サッカー協会、寒川サッカー協会
- 6 期日 2016年5月7日(土)～2017年3月25日(土)
- 7 会場 寒川総合体育館、県立体育センター、伊勢原市体育館、ひらつかアリーナ、横須賀市南体育会館他

8 参加資格

(1)フットサルチームの場合

- ① 「フットサル1種」として公益財団法人日本サッカー協会(以下、「日本協会」とする。)に加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。日本協会に承諾を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
- ② 第1項の加盟登録チームに所属する、12歳(中学生)以上の女子選手によって構成されていること。

(2)サッカーチームの場合

- ① 「1種」「2種」または「女子」として日本協会に加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。日本協会に承諾を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブないの他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
 - ② 第1項の加盟登録チームに所属する、18歳(高校生)以下、12歳(中学生)以上の女子選手によって構成されていること。
- (3) 地域女子フットサルリーグ、都道府県女子フットサルリーグに、選手は他のチームで参加していないこと。
 - (4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
 - (5) チーム登録選手は、7名以上20名まで、役員は1名(監督)以上8名までとする。
 - (6) 第(1)項に定めるチームには、1チームあたり4名までの外国籍選手の登録を認める。但し、当該外国籍選手はIFTC(国際フットサル移籍証明書)より移籍が完了し、出入国管理および難民認定法に定める在留資格を取得しているものとする。なお、外国籍選手はピッチ上に2名を超えて同時にプレーすることはできない。
 - (7) チームの活動拠点が神奈川県にあること。(神奈川県在住、在学又は在勤者が7割以上いること)
 - (8) 日本協会認定のフットサル4級以上の審判員を必ず2名以上帯同していること。
 - (9) 第8回関東フットサルリーグ降格チーム、第10回神奈川県フットサルリーグ2016の1部残留チーム及びef-1部の昇格チームであること。
 - (10) 参加チームは傷害保険(スポーツ安全保険等)に加入していること。
 - (11) 引率者は当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。

9 参加チーム数

10チームとする。

10 競技形式

- (1) 1回戦総当りのリーグ戦とする。
- (2) リーグの順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0、不戦敗-1とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ア) 当該チーム間の対戦成績
 - イ) 当該チーム間の得失点差
 - ウ) 当該チーム間の総得点数
 - エ) グループ内での総得失点差
 - オ) グループ内での総得点数
 - カ) 下記に基づく警告、退場のポイントがより少ないチーム
 - ① イエローカード1枚 1ポイント
 - ② イエローカード2枚によるレッドカード 3ポイント
 - ③ レッドカード1枚 3ポイント
 - ④ イエローカード1枚に続くレッドカード 4ポイント
 - キ) 抽選
- (3) 放棄試合が発生した場合、不戦勝チームに得点3点を付し、不戦敗チームには得点0点を付す。

11 競技会規定

大会実施年度の日本協会フットサル競技規則に則る。
ただし以下の項目については、本大会の規定を定める。

(1) ピッチサイズ: 原則として、30~40m×18~20m

(2) 使用球: 日本協会検定球を使用する。(試合球の準備は、一般社団法人神奈川県サッカー協会フットサル部会(「以下県協会フットサル部会」とする)が行う。)

(3) 競技者の数

ア) 交代要員の数: 9名以内

イ) ベンチに入ることができる人数: 15名以内(交代要員9名以内、役員6名以内)

ウ) ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数: 2名以内

(4) 競技者の用具

ア) ユニフォーム

① ユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)は、正のほかに副として正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを日本協会フットサル大会登録票に記載し、各試合に必ず携行すること(フィールドプレーヤー、ゴールキーパーとも)。

※2016年度よりFP副のユニフォーム色は、白色又は黄色とする。

② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない。

③ ゴールキーパーがトラウザー(スウェット)を着用する場合は、ゴールキーパーユニフォームの正・副のショーツと同色のものとする。

④ タイツの使用は認めない。

⑤ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認められない。フィールドプレーヤーは1番を付けることができない。日本協会フットサル大会登録票に記載された選手固有の番号を付けること。

⑥ フィールドプレーヤーとして出場していた選手がゴールキーパーに変わる場合、その試合でゴールキーパーが着用していたシャツと同一の色彩及びデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。

⑦ ユニフォームの色、選手番号およびデザインについて、参加申込締切日以降の変更は認めない。

⑧ シャツの前面、背面に日本協会フットサル登録票に記載した選手番号をつけること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判断が容易なサイズのものでなければならない。

⑨ ユニフォームの広告表示については、日本協会「ユニフォーム規定」に基づき承認された場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。

⑩ その他の事項については、日本協会「ユニフォーム規定」に則る。

イ) シューズ

靴底は接地面が紺色、白色もしくは無色透明のフットサルシューズのみ使用可能とする。(スパイクシューズ・着色・ノンマーキングシューズについては認めない)

ウ) ビブス

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

(5) 試合時間

試合時間は、30分間(前後半各15分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバル5分間(前半終了から後半開始まで)とする。

(6) 一方のチームの責に帰すべき事由により試合開催不能または中止となった場合

(不戦敗等)には、その帰責事由によるチームは0対3で敗戦したものとみなす。

(7) チーム役員については、事前に大会登録されている最大8名の中から6名を越えないチーム役員

が、試合登録され、ベンチに入ることが認められる。

なお、ベンチ入りする役員はSTAFFcardスタッフ証を出力したものを首からかけること。これがない者はベンチ入りできないものとする。

(8) 試合登録においてチーム役員及び選手を兼任する場合は、ベンチ入りの人数においてチーム

役員・選手の中からチーム役員として試合登録ができ、ベンチに入ることが認められる。この際の服装はユニフォームではなく、選手と区別できる服装を着用しなければならない。

(9) 競技開始前(審判によるエキップメントチェック)に不在な者は、ベンチ入りを認めない。

(役員・コーチ等)も同様とする。

12 登録変更

(1) 選手: 10名を上限として認める。

(2) 役員: 5名を上限として認める。

(3) 2016年11月1日(火)とする。

その場合、前述の参加資格を満たし、かつ当リーグに繋がる(都道府県を含む)他のチームとして登録されていないことを条件とする。

また、変更承認は下記の年間4回とする。

①2016年5月9日～13日（エントリーシステム入力可能期間）	JFA登録期限5月10日（火）
②2016年7月4日～8日（エントリーシステム入力可能期間）	JFA登録期限7月5日（火）
③2016年9月5日～9日（エントリーシステム入力可能期間）	JFA登録期限9月6日（火）
④2016年10月31日～11月4日（エントリーシステム入力可能期間）	JFA登録期限11月1日（火）

(4)ユニフォーム・背番号の変更は認めない。

13 懲罰

- (1)本大会期間中に警告を3回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- (2)本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については日本協会「懲罰規定」に則り、その処置を県協会フットサル規律フェアプレー部会長が決定する。
- (3)本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。但し、警告の累積によるものを除く。

14 参加義務

1部リーグ参加チームは、第13回全日本女子フットサル選手権神奈川県大会に参加すること。

15 組合せ

当大会の組合わせは、県フットサル部会において決定する。

16 参加申込

- (1)参加希望チームは、下記の手続きをおこなうこと。
参加表明(申込)は、日本協会フットサル大会登録票に必要事項を入力し、メールにて下記のアドレスまで送ること。なお、原本は、代表者会議時に(代表者サイン入り)を提出すること。
※申込用アドレス
iyoshi@kanagawa-futsal-fed.org
なお、参加チームは次の書類に必要事項を記入し、代表者会議の際、一括して提出すること。
ア)公益財団法人日本サッカー協会フットサル大会登録票
イ)参加申込承諾書兼プライバシーポリシー同意書
ウ)電子選手証の写し
エ)日本フットサル連盟加盟申込書
- (2)大会登録票データ送付期間 2016年4月12日(火)～15日(金)必着
※選手登録番号は必ず記入すること。
- (4)参加料決定額および振込方法等を含む詳細については、代表者会議で連絡する。
※参加決定チームは、代表者会議に出席すること。

17 参加料

123,000円とする。

※大会参加料の分割納入を認める。1部前期=70,000円、後期=53,000円

参加料振り込みについては、2016年4月18日以降、4月22日までにチーム名で振り込むこと。

また、県協会に振り込み確認書をFAXすること。

なお、振り込みの確認は、4月26日(火)以降、ホームページにて発表する。

【FAX先】

一般社団法人神奈川県サッカー協会 FAX 0466-46-5696

18 代表者会議

- (1)期日:2016年4月17日(日) 9時30分
- (2)会場:寒川総合体育館3F会議室

※参加チーム代表者1名は、代表者会議に出席しなければならない。

※代表者会議に欠席した場合は失格とする。但し、その可否については主催者が決定する。

19 選手証

各チームは、日本協会発行の電子選手登録証の写し(写真が貼っている)をマッチコーディネーションミーティング及び試合会場に持参すること。

※登録が確認できない場合は、試合に出場できない。

20 表彰

チーム

優勝チームには、リーグ優勝カップ(持ち回り)、トロフィー及び賞状、準優勝・第3位のチームにはトロフィー及び賞状をそれぞれ授与する。

個人

得点王は、トロフィーを授与する。

※表彰対象チーム・選手は必ず、年度末の表彰式典に参加すること。

21 関東女子フットサルリーグ参入戦出場権

- (1) 本大会の優勝チームは、関東女子フットサルリーグ参入戦出場義務を負う。
- (2) 期日: 2018年1月22日(日)、2月18日(土)、2月19日(日)
- (3) 場所: 茨城県 水海道体育館

22 昇降格

- (1) 1部・ef-1の昇降格は、別途昇降格規定に基づいて行なう。
- (2) 昇降格戦は、本大会要項に準じて行なう。なお、引分けの場合は、上位リーグ所属チームの残留とする。

23 審判及びオフィシャル

- (1) 審判について主審・第2審判は、県協会 第2事業部審判部会より派遣する。
タイムキーパは、運営担当チームの有資格者が行う。(審判服・レフリーバッチ着用)
又、協会派遣審判員がタイムキーパを行う場合は、この限りではない。
- (2) オフィシャル等は、割当てた運営担当チームが行う。

24 その他

- (1) 大会要項違反、その他不都合な行為があった場合は、規律フェアプレー部会に諮り、その選手またはチームの処分を決定する。
- (2) 各試合の45分前に両チームの代表者、審判員とのマッチコーディネーションミーティングを行なう。
但し大会日第一試合のMCMについては、30分前とする。
遅刻についての判定は、(1)項により決定する。
- (3) 傷病手当については、救急車の手配は行うが、その後については、チームの責任において処置をすること。
- (4) 本大会の試合に関するテレビ・動画・写真の権利は全て県協会フットサル部会に帰属する。
また、肖像権等の使用は、前記フットサル部会の承認を必要とする。なお、試合等を撮影する場合、試合当日、大会本部で申請・許可を受けること。
※観戦者の撮影は禁止とするし、参加チーム関係者の撮影は、1チーム動画1台・写真1台を限度にスタンドにて行える。
- (5) その他の注意事項については別途大会運営要項に定める。

25 問い合わせ先

県協会 メールアドレス: futsal@kanagawa-fa.gr.jp

HomePage URL <http://www.kanagawa-fa.gr.jp/>